

ラジオ広報（医療費適正化について） 3/11（木）放送

アナ	皆さま、こんにちは。長寿医療ひとくちメモのお時間です。 今週は、後期高齢者医療制度に関する様々な情報をお届けいたします。 さて、昨日までは、保険料に関することについてお話を伺いましたが、本日は医療費適正化について、この制度を運営している栃木県後期高齢者医療広域連合の〇〇さんに伺いたいと思います。〇〇さん、よろしくお願いします。
〇〇	よろしくお願いします。
アナ	さて、医療費適正化という言葉、初めて耳にされる方も多いと思いますが、どういったことなのでしょう。
〇〇	今後、高齢化が進むことなどによりまして、どうしても医療費は増加していきます。しかし、医療費にかけられる財源にも限りがあります。ですから、その伸びをできるだけ緩やかにすることで、国民の誰もが安心して、いつでもお医者さんにかかれる、いわゆる国民皆保険を守っていくということが大切です。 そのためには、まず、自分の健康は自分で守ることを心がけていただくこと、そして、必ずしも必要のない医療費をできるだけ減らすような工夫をすること。 このようなことが、「医療費の適正化」と言えるかと思います。
アナ	では、医療費適正化のためには、被保険者の方は、まずどのようなことを心がけたらよいのでしょうか。
〇〇	はい、まず、自分の健康を自分で守るためには、自らの身体の状態をよく知っていただくことが必要です。
アナ	身体の状態を知るためには、具体的にはどうしたらいいのでしょうか。
〇〇	私ども広域連合では、市や町にお願いして、健康診査事業を行っています。この健診を受けることで、例えば、糖尿病などの生活習慣病を早めに見つけて、早めに治療を行うことで重症化を防ぐことができ、結果的に医療費の伸びを抑えることにつながります。
アナ	その他に何か心がけることはありますか。
〇〇	例としてはあまり多くはないのですが、高齢者の方の中には、心配のあまり、同じ病気でいくつもの医療機関にかかっている方もいらっしゃるようですが、このような受診はできるだけ控えて欲しいと思います。
アナ	それはどうしてですか。
〇〇	このような重複して受診することは、同様の検査を受けたり、同じような薬をもらったりすることなどによって医療費が増えるだけではなく、処方された薬の飲み合わせなどによっては、逆に健康を害してしまうこともあるからです。
アナ	そのような受診を控えることができればいいのですが、何か対策はないのでしょうか。
〇〇	はい、そのために私ども広域連合では、平成 22 年度から保健師や看護師さんが被保険者の方のお宅を訪問させていただいて、健康に関するお話や、適切な医療が受けられるようご相談させていただく事業を実施いたします。 また、自分の身体をよく理解してくれているかかりつけのお医者さんをもっておくこと、こういうことが大切だと思います。
アナ	ここまでいろいろお話をうかがって来ましたが、自分の健康は自分で守るという意識を持つこと、必要のない医療費は無くしていくこと、このようなことで医療費の適正化が図られ、これからも安心して医療を受けられることにつながっていく、というわけですね。
アナ	この番組についてのお問い合わせは、栃木県後期高齢者医療広域連合 電話 0 2 8 - 6 2 7 - 6 8 0 5 までお願いいたします。 明日は、この制度の今後について伺います。 〇〇さん、今日はありがとうございました。
〇〇	ありがとうございました。